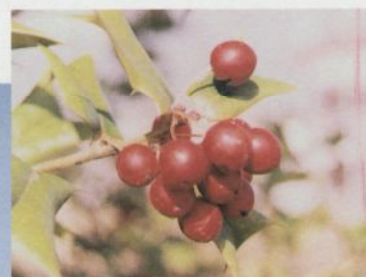


# どんぐり通信

No.7 2000.2



## 自然探訪Ⅶ シナヒイラギ

これは、名前の通り中国北東部や朝鮮半島南部に分布する木ですが、日本やヨーロッパで公園や庭などに植えられたり、生け垣として使われています。日本のヒイラギは「もくせい科」ですが、シナヒイラギはセイヨウヒイラギとともに「もちのき科」です。高さは3～5m程度となり、葉の先端がとげ状になります。生育は日向でも日陰でも可能です。10～11月ごろに、約1cmくらいの紅い球形の実をつけます。サイエンスマンスにともなう、当センターの一般開放の日（11月23日）に、ネイチャークラフトとして、シナヒイラギの葉と実を使って、クリスマスのリースも作りました。あなたも、来年は当センターでリース作りに挑戦してみませんか。

（佐々木）



**福岡県森林林業技術センター**

FUKUOKA Forest Research & Extension Center



## はじめに

私達の身のまわりのいろいろな場所で見られる緑化木は、緑の少ない所に人工的に樹木を植栽するために用いられます。その目的には環境や景色の改善や防風・防火、気候緩和などのほか、精神的な安らぎの効果も期待されています。

福岡県は全国でも有数の緑化木が生産されており、県内をはじめ全国の家庭、公共施設、工場、道路などで利用されています。

## 今後の緑化木に求められるもの

これらに用いられる緑化木の種類は、緑に対する関心の高まりや行政に対する要望、緑化場所の広がりなどにより少しずつ変化しています。

それらをまとめると次のようなものがあります。

1. 土壌や空気の汚染などに敏感で、環境の指標になるようなもの。
2. 緑化の場所が平地から海辺、河川、山地など広がっており、これらの環境に適合するもの。
3. 樹形や花のほか果実、紅葉、香り、葉の形、昔からの言い伝えなどに特徴があるもの。
4. 手をかけなくても、自然形で楽しめるもの。
5. 従来あまり使われていない、新鮮なもの。

これらを考慮して当センターでは野生樹木や海外から導入された樹木の中から、新しい時代に適合した緑化木の育成に取り組んでいます。

以下、今までに育成した樹木のうち4種類だけを紹介します。

## クサボケ（バラ科）

日本特産の落葉性の低木で、カリンやボケと同じ仲間ですが、背丈は30～50cmと小さく、日当たりの良い草原や林縁、岩石地に見られるものです。普通4月頃朱赤色の花を付けますが、秋にもう一度咲く場合が多いようです。果実はゆがんだ球形で直径3～5cm、良い香りがするので果実酒や砂糖漬けなどに用いられます。



写真-1 クサボケ（花および果実）

福岡県には自生はありませんが久住地方の草原によく見られ、地元では岳梅と呼ばれています。

枝先が刺のように尖るのが欠点ですが、日当たりさえ良ければ狭い場所や壁際などでも楽しめます。繁殖は実生で行ないます。

## カキノキ（ウルシ科）：別名ランシンボク、トネリバハゼ。 中国名：楷木、爛心木、黄蓮木

中国や台湾原産の落葉高木。樹皮は灰色、葉はハゼノキに似た羽状複葉で、樹形は雄大で大木になります。雌雄異株で、花は4月頃咲きますが、あまり目立ちません。果実は10～12月に熟し、水



写真-2 カキノキ（左：果実、右：紅葉）



色、赤色、ベージュ色などになるが、充実しているのは水色の果実だけです。秋には美しく紅葉し、黄色～濃紅色など様々な色になります。

中国では聖なる木として孔子廟（孔子の霊をまつたところ）によく植えられ、日本でも東京湯島の聖堂や佐賀県多久の聖廟など孔子ゆかりの地や、横浜の金沢文庫や備前市の閑谷（シズタニ）学校など歴史的な教育関連施設に大木が見られます。

また以前中国では、科挙（かきョ…役人になるための試験）に合格した人に授ける笏（シャク…儀式などのときに手に持つ板片）をこの木で作ったという由緒のある木です。

ナッツで有名なピスタチオと同じ仲間です。

剪定を嫌い、大木になるので、記念樹などとして広い空間に植え、自然形や紅葉を楽しむのに適しています。普通、繁殖は実生で行ないます。

### ギンバイカ（フトモモ科）

中近東～地中海地方に産する常緑の低木です。樹高は2～3mくらいで、葉は披針形で対生します。6月頃白い花を付け、多数出る雄しべも白く、梅の花に似るのでこの名前が付いています。果実は藍色で11～12月頃熟します。

葉、花、果実とも特有のよい香りがあり、食品の香りつけ、香水、薬用品などに用いられます。

ヨーロッパではミルテと呼ばれ、神聖な木、祝



写真-3 ギンバイカ（花）

いの木として親しまれ、結婚式の花輪としたり花木として庭に植えたりします。ギリシャ神話ではビーナスの護り木とされ、花言葉は〈愛〉です。

樹勢は強く、乾燥にも耐え、栽培しやすい木ですが、寒い地方では霜よけが必要です。繁殖は実生や挿し木で行ないます。

### ハマゴウ（クマツヅラ科）

関東地方以西の日本をはじめ東アジア～オーストラリアなど広い地域の海岸砂地に群生する落葉低木です。

若い枝には角があり、地面を長く這い、ところどころで根を出します。葉は楕円形で裏面は白みを帯びています。花は青紫色の唇型で、夏に次から次に長い期間咲き、果実は球形で褐色に熟します。枝、花、果実などには特有の香りがあります。

漢方では薬用としたり、風呂に入れて香りを楽しみます。また瀬戸内海地方の一部ではノギクの花とこの果実で作った枕で寝ると、頭が良くなるという言い伝えがあります。

乾燥地や砂地及び都市のコンクリートに囲まれた場所での緑化木として期待できます。実生でも増えますが、挿し木で簡単に増やせます。



写真-4 ハマゴウ（花）

この他にもいろいろ未利用の樹木の育成を手掛け、緑化木として皆様のまわりの環境を良くするための研究を行なっています。

（猪上信義）





### サイエスマンス (森林林業技術センター一般開放)

福岡県では11月をフクオカ・サイエスマンスとして、県民の方々に科学技術への理解を深めてもらうために県下各地の試験研究機関等でさまざまなイベントを開催しています。

当センターでも、久留米市東部の人々が中心となって主催する「くるめ耳納北麓祭り」が開催される11月23日の祝日を一般開放の日とし、森林林業に関する試験研究・普及の内容や成果等を広く県民の方々に紹介し、より理解を深めていただくことにしています。

平成11年は、センター横にある県指定の天然

記念物である「柳坂曾根ハゼ並木」の紅葉は天候の関係で例年のような美しさは見られず、また、小雨にもたたられ、入場者も少ないものとなりました。

しかし、入場された多くの人々が、森林林業に関する展示やビデオ上映、タケ、木の実や小枝を使ったドングリ人形、リース等のネイチャークラフト、炭焼き体験に挑戦され、大変喜ばれました。これからも、多くの機会を捉え、県民の皆様には森林林業の役割・重要性を利かしてもらおう努力をしてまいりたいと思っています。

(企画普及課 石橋)

### 【交通案内】

- JR 鹿兒島本線久留米駅より  
バス 25番系統(40分)柳坂下車徒歩5分  
タクシー 25分
- 西鉄久留米駅より  
バス 25番系統(30分)柳坂下車5分  
タクシー 20分
- 九州自動車道久留米インターより車で15分

**福岡県森林林業技術センター**  
 FUKUOKA Forest Research & Extension Center

〒839-0827  
 福岡県久留米市山本町豊田1438の2  
 電話/0942-45-7870(代)  
 ファクシミリ/0942-45-7901